

介護福祉学科卒業生アンケート
「自分の仕事のやりがいや悩み」

2016年6月

期生	やりがい	悩み
1	ご利用者の笑顔には、次へのチカラと今の自分に自信を持てます。	とはいえ、職員間の考え方の違いをまとめていくのは難と日々感じています。
1		介護保険が始まって16年、サービスを受ける側が、「サービスを受けて当たり前」という風潮になりつつあり、介護をしていてもか「感謝」の言葉などが少なくなってきた様に思います。また、サービスにも格差社会がはっきり現れています。悩みは永遠に人間関係だと思えます。
1	高齢者、障害者どちらにおいても直接寄りそえること。直接関わるので、一緒に笑顔になれること。	勤務年数を重ねるごとにモチベーションを維持、向上させることが大変。
1		2025年に向けて介護職員のニーズが高まっている事はわかるが、求められる事と現場のマンパワー、質のギャップや様々な矛盾。やりがいだけでは折れてしまいそうなモチベーション！あと介護職員の高齢化。
1		現場を離れてから時が経つにつれて、仕事に就いても感覚や動きができるのか不安があります。
2	仕事にはやりがいを感じています。	職場では常に職員不足です。
2	多くの人と接することができること。	年齢(64歳)的にきつくなって来たこと。
4	やりがいは利用者さんの生活が安定し、穏やかな時間の流れを共に感じられること。	悩みは生活を維持できる給料ではないこと。
5	一人一人相手の方は私たちをみてみえます。そつとよりそってあげられ背中を静かになぜてあげられるようになるのがやりがいです。最終の私のステージでの地域の中にある施設にもお世話になった大先輩との交流に専門学校での学習はとても役立ちます。ありがとうございます。	
5	やはり、感謝されると嬉しく思い、さらにやりがいを感じます。	専門職であるにもかかわらず、給料の安さに疑問を感じます。
6		たくさんあり過ぎです。(特別養護老人ホームの生活相談員という立場から申しますと)入所率の必達に追われて精神的に休まる時がない、介護スタッフと話が通じない(ジェネレーションギャップという意味ではなく、理解力の問題です。LDやADHDが疑われる正規職員のスタッフもいます。)等々です。現在は福祉とは別の仕事をしております・・・。
6		悩みは毎日業務に追われ、入居者様とゆっくりコミュニケーションを取る時間がない。
6	笑顔がたくさんもらい、届けることができること。自分の手でふれ温もりを感じられること。	ありません。
6		介護の仕事に再就職したくても、土日祝やお盆などの休みがなく、子どもを抱えてできる仕事は難しいと思っています。
7		人手不足であること。
9	特養の現場におります。利用者様に少しでも寄り添える事がやりがいです。	
12	人生の大先輩と関わることができる。チームで力を合わせてケアできる。	自分の無力さを感じる。正解が分からない。